

目次

昭和戦中期の行政と宗教・神社

【シンポジウム】

発題 1

神祇官をめぐる議論の歴史的展開―近代を中心に―…………… 國學院大學教授 齊藤 智朗氏…………… 6

発題 2

昭和戦中期の内務行政と宗教・神社―警察行政を中心に―…………… 上越教育大学准教授 小島 伸之氏…………… 22

発題 3

〈民衆宗教ナショナルリズム〉の変容―アジア・太平洋戦争期における天理教と行政―…………… 日本学術振興会特別研究員 永岡 崇氏…………… 36

コメント 1…………… 國學院大學教授 中山 郁氏…………… 51

コメント 2…………… 國學院大學研究開発推進機構共同研究員 河村 忠伸氏…………… 55

討議…………… 司会 國學院大學准教授 宮本 誉士氏…………… 59

# 研究発表

## 〈第一部会〉

天皇と斎王の祭祀構造 — 「戸座」の位置づけを手がかりに —	木村大樹	71
古代伊勢神宮祭祀の基本構造	塩川哲朗	72
古代伊勢神宮における「御鑑」について	山口祐樹	74
狩猟神事における草鹿式の考察 — 武家儀礼との関わりに注目して —	針谷武文	77
吉田神道三壇行事における加行に関する一考察	新田恵三	78
石清水・賀茂臨時祭再興における朝廷	岡本和真	82
神社祭祀と宮中年中行事	竹内雅之	84

## 〈第二部会〉

神代紀における本書と一書の差異・矛盾について	庄野啓太	87
— 伊弉諾尊・伊弉冉尊の所伝を中心に —		
命令する神とされる人と	足立涼	90
— 「みこともち」と「みこともちて」とをめぐって —		
宝曆事件の一視点 — 竹内式部の思想と公家門弟を中心に —	大貫大樹	92
吉見幸和とその門下生 — 尾張大國霊神社と鹽竈神社の事例から —	城所喬男	95

佐賀の楠公奉斎と枝吉神陽……………江頭慶宣……………99

隊友会による護國神社へ殉職自衛官相殿奉斎等を申請する動き

— 機関誌『隊友』に焦点を当てて —……………島矢大嗣……………101

明治初年の丸山作楽に関する一考察……………三ツ松誠……………104

### 〈第三部会〉

女鞍の特徴……………坂本直乙子……………107

神職の祭祀服装に関する一考察……………後藤正明……………109

地鎮祭における鎮物の意義……………田井健治……………112

「自葬」と「神葬祭」——『葬祭略式』を中心に——……………大番彩香……………115

松尾大社の社司論争裁判——神方の役割を中心として——……………海上直士……………117

近代の伊勢講の変化——福岡県の事例をとおして——……………八幡崇経……………120

### 〈第四部会〉

怪異譚と死者の表象に関する一考察……………古山美佳……………123

電話、その宗教的なるもの……………

— 近代メディア機器をめぐる宗教的リアリティについて —……………大道晴香……………126

過疎地域の神社神道——神社と氏子に関する意識調査から——……………冬月律……………128